

## 2022年度前期 「授業評価アンケート」 報告書

|   | 教職員氏名 | 授業コード   | 科目名   | 1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。                                                             | 2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。                                                                                                                             | 3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）                                                                                                                                                                                     |
|---|-------|---------|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 保 | 合田 誠  | 2133211 | 社会福祉  | 「卒業必修」であり、保育士資格の原理的授業内容のため。また、学生がこの授業に対してどの様に評価しているかを確認したかったためです。                                         | パワーポイントのスライドをすすめるのが早いとの指摘があったので、可能な限り、学生に進捗状況を声かけしながらすすめた。また、どうしても限られた時間内に多くのことを伝える必要があるため、授業の途中くらいから早口になってしまうとの指摘もあり、関係する派生した話題を極力避けて、授業をすすめた。                       | 原理系の科目でもあるため、限られた時間内に多くの専門的事項を享受する関係で、達成状況は「少し達成できた」が51%となっており、今後もう少し、達成レベルを向上させるための授業工夫が必要になる。                                                                                                                                                   |
|   |       | 2133212 | 社会福祉  | 「卒業必修」であり、保育士資格の原理的授業内容のため。また、学生がこの授業に対してどの様に評価しているかを確認したかったためです。                                         | パワーポイントのスライドをすすめるのが早いとの指摘があったので、可能な限り、学生に進捗状況を声かけしながらすすめた。また、どうしても限られた時間内に多くのことを伝える必要があるため、授業の途中くらいから早口になってしまうとの指摘もあり、関係する派生した話題を極力避けて、授業をすすめた。                       | 問2の積極的な授業参加を促す工夫に関して、「あまり思わない」と回答したのが33%になっていたことに驚いた。講義系の授業のため、課題発表やグループワークは行っていない。ただ、コメントペーパーは求めなかったで、逆に学生はそこを望んでいたかも知れない。今後の参考にしたい。やはり、達成目標については達成度合いが「少し達成できた」が38%となっており、保育士を目指す学生にとって、今後この達成度合いを上げる授業工夫をしていかねばならない。                           |
| 保 | 長谷 秀揮 | 2173011 | 幼児と健康 | これまで、この科目を授業評価アンケートの対象に選んだことがなかったということが、主な理由であるといえる。また、授業テキストを、これまで数年間使っていたものから、最新版のテキストに変更したことも理由の一つである。 | 中間アンケートでは、授業に関して「特になし」との回答が、大多数という結果であった。しかし授業の進め方について、少し速いとの意見が若干あったのでテキストの要点の解説をはじめ、パワーポイントや配布資料の説明等を進めていくスピードをペースダウンし、ノートする為の時間等を長めにして確実に要点を書き留めることができるように工夫・改善した。 | アンケートの回答によると、シラバスの到達目標の達成状況については、「ほとんど達成できた」が2%、「かなり達成できた」が26%、そして「少しは達成できた」が47%という結果であり、一定程度は達成できたと考えられる。しかし、「あまり達成できなかった」と、「ほとんど達成できなかった」が合わせて25%という結果については、今後の課題として捉えることができる。授業内容・方法の吟味、及び工夫改善に継続的に取り組み、授業の質の向上を図り、受講学生の満足度をより高めていくように努めたい。    |
|   |       | 2137012 | 幼児と健康 | これまで、この科目を授業評価アンケートの対象に選んだことがなかったということが、主な理由であるといえる。また、授業テキストを、これまで数年間使っていたものから、最新版のテキストに変更したことも理由の一つである。 | 中間アンケートでは、授業に関して「特になし」との回答がほとんどという結果であった。しかし授業の進め方について、少し速いとの意見が若干あったのでテキストの要点の解説をはじめ、パワーポイントや配布資料の説明等を進めていくスピードをペースダウンし、ノートする為の時間等を長めにして確実に要点を書き留めることができるように工夫・改善した。 | アンケートの回答によると、シラバスの到達目標の達成状況については、「ほとんど達成できた」が7%、「かなり達成できた」が29%、そして「少しは達成できた」が50%という結果であり、一定程度は達成できたと考えられる。しかし、「あまり達成できなかった」と、「ほとんど達成できなかった」とが合わせて14%という結果については今後の課題として捉えることができる。受講学生の満足度をさらに高めることが出来るように、授業内容・方法の吟味、及び工夫改善に継続的に取り組み、授業の質の向上に努めたい。 |

|   | 教職員氏名 | 授業コード   | 科目名      | 1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。                                                                    | 2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。                                                                                                                                                                                                                                                                                | 3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）                                                                                                                                                                                                                                                        |
|---|-------|---------|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 保 | 山田 秀江 | 2137021 | 幼児と人間関係  | 今年度より、幼児と人間関係が前期科目に変更になり、一年生の状況を把握するため                                                                           | 書き込み式の配布プリントが文字が小さく見づらいという意見があったので、配布プリントを見やすく、書きやすいものに変更した。                                                                                                                                                                                                                                                             | ほとんど達成できた、かなり達成できた、少し達成できたの回答が81%であり、成績70点以上が72%であった。概ね達成できたと思われる。また、積極的な参加を促すための工夫に関して、そう思うが30%、ややそう思うが59%であり、そう思わないが2%であった。これらを受けて、学生の積極的な参加を促すための授業の工夫を検討し、改善したい。                                                                                                                                                 |
|   |       | 2137022 | 幼児と人間関係  | クラス間の比較のため                                                                                                       | 他のクラスと同様、書き込み式の配布プリントが文字が小さく見づらいという意見があったので、配布プリントを見やすく、書きやすいものに変更した。                                                                                                                                                                                                                                                    | ほとんど達成できた、かなり達成できた、少し達成できたの回答が87%であり、成績70点以上が73%であった。概ね達成できたと思われるが、学生の自己評価と実際の成績の間に14%の差がある。またこちらのクラスは予習復習に当てた時間に関して30分未満が91%となっている。そこで、学生の自己評価と実際の成績評価の乖離をなくし、達成状況が向上するよう、予習復習の方法を模索する。また、学生へのフィードバックの方法も改善したい。                                                                                                     |
| 保 | 阪野 学  | 2133171 | 子ども家庭支援論 | もう一つのコマの授業より回答率が高く受講者が68人と多く、クラスも1組から6組全クラスに涉っており多くの学生の意見が反映されていると云うことと、レポート試験の結果不合格の学生の割合が25%と高く分析しておく必要を感じたため。 | 今回から学生が提出した振り返りシートを応え合わせさせて間違えている箇所を直して再提出させた。学生の中に毎回の授業の振り返りシートの提出が負担であるとの回答がみられたが、本科目は2単位であり文科省で定める学外学修時間を毎週4時間必要とする。アンケートには、30分未満が14人、30分～1時間が20人、1～2時間10人、2時間以上5人とあり5/49（約10%）の学生が2時間を超えているが後の約90%は2時間以内に収まっており振り返りシートの作成に要する時間については適切であると判断することができる。その他、パワーポイントの見やすさ、後半時間が無くなり授業が駆け足になる、マイクの音量などについて配慮して改善に努めた。     | 上記のとおり振り返りシートの提出及び再提出をさせ学生の学びを深めさせると同時に学生の学外学修時間の確保することができた。そして、75%の学生が合格した。1/4の学生が60点到達せず再試験を受ける結果となった。評価の平均点は70.7点であった。最終的には再試験の結果から判断しなければいけないが、おそらく2～3名を除いて再試験での合格が見込まれる。従ってシラバスの到達目標の達成はできたと判断することができる。今後の課題としては、学外学修時間の確保について繰り返し学生に説明するとともに毎回の振り返りシートにおいて学生の要望を聞き改善に努めていきたい。                                  |
|   |       | 2133361 | 社会的養護Ⅱ   | 3つのコマの中で一番回答率が高く学生の意見が反映されていると判断したため。また、レポート試験の結果不合格者が全体の33%と高く分析をしておく必要を感じたため。                                  | 今回から学生に提出させた振り返りシートを学生に答え合わせをさせ間違っている箇所を修正して再提出させた。学生の中に毎回の授業の振り返りシートの提出が負担であるとの回答がみられたが、本科目は1単位のため文科省で定める学外学修時間を毎週1時間必要とする。アンケートには、30分未満が7人、30分～1時間が11人、1～2時間7人、2時間以上0人となる。18/33（約55%）の学生が1時間以内、1時間を超える学生は7/33（28%）となっており、1時間を超える学生が1/4以上居るため今後改善していく必要があると考える。その他、パワーポイントの見やすさ、後半時間が無くなり授業が駆け足になる、マイクの音量などについては改善に努めた。 | 上記のとおり振り返りシートの提出及び再提出をさせ学生の学びを深めさせると同時に学生の学外学修時間の確保することができた。そして、67%の学生が合格した。1/3の学生が60点到達せず再試験を受ける結果となった。評価の平均点は63点であった。最終的には再試験のから判断しなければいけないが、おそらくほとんどの学生が再試験での合格が見込まれる。従ってシラバスの到達目標の達成は概ねできたと判断することができる。今後の課題としては、学外学修時間の確保について繰り返し学生に説明するとともに今回の振り返りシートの作成にかかる時間から勘案して負担の軽減を行い、併せて毎回の課題シートにおいて学生の要望を聞き改善に努めていきたい。 |

|   | 教職員氏名 | 授業コード   | 科目名               | 1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。                     | 2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。                                                                                    | 3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）                                                                                                                                                      |
|---|-------|---------|-------------------|-------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 保 | 木村 美佳 | 2132062 | 子どもの健康と安全         | 3限続きの最初の授業                                                        | 中間アンケートでできていなかった、学生同士のコミュニケーションが後半は取れるようになってきた。グループでの活動を増やし、演習の授業を多く取り入れていき、活動を共にすることで、学生同士のコミュニケーションが取れるように工夫した。            | あまり達成できなかったと回答した学生は一人だけだったが、一人いたため、今後はさらにリフレクションシートを使用した支援を行っていきたいと思う。                                                                                                                                             |
|   |       | 2132061 | 子どもの健康と安全         | 3限続きの最後の授業                                                        | 中間アンケートでできていなかった、学生同士のコミュニケーションが後半は取れるようになってきた。グループでの活動を増やし、演習の授業を多く取り入れていき、活動を共にすることで、学生同士のコミュニケーションが取れるように工夫した。            | このクラスでは「達成できなかった」という意見の学生は一人もおらず、3限目の効率や授業展開を行う余裕があるかと思われる。しかし1限目にするクラスとの差が生じないためにも、この授業と同じように1限目も授業展開の効率性や、個々の学生に合わせた授業を展開できるよう、リフレクションシートを通して学修の支えを行っていきたいと思っている。                                                |
| 保 | 金川 朋子 | 2133061 | 特別支援教育総論Ⅰ         | 担任クラスを含む科目（1, 2組）を選んだ。                                            | プリントに記入しやすいように、提示用P P の見え方を確認、工夫した。個別の発表が苦手との意見もあったが、人前で発言することは、必ず必要であることを授業内でも説明し、行った。また、発言機会については、事前に指定し、発言するための準備の時間を設けた。 | 予習復習する時間について、63%が30分未満との回答、1時間未満25%、という結果から、繰り返し復習する機会を設ける必要があると感じた。前期は、小テストをおおよそ5コマごとに行い、復習をする機会を作った。シラバス達成目標についても、あまり達成できなかった9%、ほとんど達成できなかった3%という結果も踏まえ、前期試験の解答状況を確認し、後期授業においても復習しながら、後期の授業を進めていきたいと考える。         |
|   |       | 2113011 | スポーツ 1            | 担任クラスを含む科目（1, 2組）を選んだ。                                            | 暑さ（体育館に冷房がない）、移動の大変さなどの、学生からの意見があった。暑さ対策について、熱中症予防も含めて、配慮し実施した。第13回目は、清風学舎で授業を行った。                                           | 予習復習の時間については、64%が1時間未満という結果であった。授業後の振り返りプリントの記入を行っているが、実技の場合は、実技のみでなくその振り返りをしっかりと行う必要があると考える。そのための工夫を検討していきたい。シラバスの到達目標については、95%が少し達成できた、かなり達成できた、ほとんど達成できたと回答している。多くの学生が主体的に授業に取り組んでいた。今後も、学生が積極的に学べる工夫を継続していきたい。 |
| 保 | 鍛冶谷 静 | 2131311 | 発達心理学<br>（1・2・3組） | 同科目別クラスと教室の規模が異なり授業中の雰囲気にも差があるように感じ、学修成果の達成状況に影響があるかどうか確かめたかったため。 | グループワーク希望が数人から出たが、この科目の目的を伝え理解を図った。早すぎるという進度についての要望には、学生の反応をこまめに確認しながらペースを調整した。                                              | 期末の筆記試験の結果と学生の自己評価にギャップはなく、授業内容を概ね理解できていた。スライドやプリントが分かりやすい、DVD視聴が勉強になったとの声を励みに、来期もさらに提供資料の精選・充実に努め、学生の自学自習を促したいと思う。                                                                                                |
|   |       | 2131312 | 発達心理学<br>（4・5・6組） | 同科目別クラスと教室の規模が異なり授業中の雰囲気にも差があるように感じ、学修成果の達成状況に影響があるかどうか確かめたかったため。 | 縦に長い教室で、後方からスライドの文字が見にくいとの声があった。背景とのコントラストや文字の大きさを変更し、対応した。                                                                  | 縦に長く、最前列から最後列までぎっしり席が埋まっている教室で不利に思える環境だったが、学生の受講態度は熱心で達成状況にも差が見られなかったので安堵した。スライドやプリントが分かりやすい、DVD視聴が勉強になったとの声を励みに、来期もさらに提供資料の精選・充実に努め、学生の自学自習を促したいと思う。                                                              |

|   | 教職員氏名  | 授業コード   | 科目名              | 1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。    | 2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。                                                                                                                                        | 3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）                                                                                                                                             |
|---|--------|---------|------------------|--------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 保 | 香月 欣浩  | 2137091 | 幼児と図工Ⅰ           | 中間アンケートを実施した授業のため                                | 学生のアンケートから充実していることを把握できたため、学びがより深まっていくように積極的な参加を促すための工夫つまり質疑応答、課題の発表、グループワーク、コメントペーパーなどを行なった。特に学生全員の毎回の振り返りシートにコメントをして返却する振り返りシートによって、学生の学び、気づき、状態、成果に対する判断を伝え次回の意欲につながるように心掛けた。 | 復習として、振り返りシートの文をまとめ、全員で共有してきたが、復習や予習と捉えられていなかったようなので、後期の課題である。                                                                                                                                            |
|   |        | 2137093 | 幼児と図工Ⅰ<br>5.6組   | 中間アンケートをとった授業のため                                 | 学生のアンケートから充実していることを把握できたため、学びがより深まっていくように積極的な参加を促すための工夫つまり質疑応答、課題の発表、グループワーク、コメントペーパーなどを行なった。特に学生全員の毎回の振り返りシートにコメントをして返却する振り返りシートによって、学生の学び、気づき、状態、成果に対する判断を伝え次回の意欲につながるように心掛けた。 | 「中間アンケートで出された学生の意見、要望に対する取り組みは見られましたか。」の質問に対しての回答で、「そう思う」が50パーセントにとどまっている理由は、中間アンケートでほとんど要望がなかったことが、反映されている結果だととらえている。現状のアンケート内容だと改善されていないような結果になるためだ。そう理解している。今後は予習や復習の内容を充実させて、授業のさらなる充実を図っていきたい。       |
| 保 | 千田 耕太郎 | 2137051 | 幼児と音楽Ⅰ<br>(1・2組) | 音楽の授業の中で1年生全員が履修し、かつ最も多くの非常勤講師の先生が携わっている授業であるため。 | 授業に関する要望がいくつかあったので、授業担当者全員で共有し、改善をお願いした。                                                                                                                                         | 到達目標を70%以上達成できたと回答した学生は89%であった。昨年はオンライン授業の期間もあり、単純には比較はできないが、昨年度に比べ達成度は上がっているように感じる。ピアノの必修課題についての見直しが功を奏しているのかもしれない。ただ、ピアノという学習内容の性格を考えると、予習復習にかかる時間が短いのが気にかかる。                                           |
|   |        | 2137052 | 幼児と音楽Ⅰ<br>(3・4組) | 音楽の授業の中で1年生全員が履修し、かつ最も多くの非常勤講師の先生が携わっている授業であるため。 | 授業に関する要望がいくつかあったので、授業担当者全員で共有し、改善をお願いした。                                                                                                                                         | 到達目標を70%以上達成できたと回答した学生は100%であった。昨年はオンライン授業の期間もあり、単純には比較はできないが、昨年度に比べ達成度は上がっている。ピアノの必修課題についての見直しが功を奏しているのかもしれない。ただ、ピアノという学習内容の性格を考えると、予習復習にかかる時間がまだまだ短いのが気にかかる。※幼児と音楽Ⅰ（5・6組）のアンケート結果については、3・4組とよく似た傾向となった。 |

|   | 教職員氏名 | 授業コード   | 科目名            | 1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。                                                                                                                                                | 2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）                                                                                                                                                                                                 |
|---|-------|---------|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 保 | 森 麻希子 | 2110151 | 子ども文化Ⅰ<br>（音楽） | この授業では、手遊びと童謡の視覚化（ペープサート・パネルシアター）を主に取り扱い、保育者として人前で発表する機会に慣れてほしいという思いから、個人とグループ活動をそれぞれ実施し授業内発表を行った。授業評価アンケートの対象に選んだ理由として、保育学科1年次の唯一の選択科目であるものの、大半の学生が履修しているため、学生の授業に対する満足度を知り今後の改善に繋がらなかったから。 | 中間アンケートにおいて学生から要望があったグループワークについては、当初より授業後半で取り扱う計画だったため、予定通り実施した。制作時間についての要望もあげられた。授業回数としては十分確保しているが、童謡を歌い表現を深めること、制作することを両立してする必要があるため、より効率的に取り組めるよう今後も内容の見直しをおこなっていききたい。その他の要望として、発表が見えにくい、他のクラスの発表もみたいといった回答については、新型コロナウイルス感染予防のため、受講者数に対して使用できる教室が限定されていることや、一同に会するのではなく二箇所に分かれて授業をしていたため、今期の授業中には対応できなかったところもあるため、今後の検討課題とした。 | 学生の自己評価と、成績の割合は概ね対応する形となった。7割近くの学生が、ほとんど・かなり達成できたと回答している一方で、達成できなかったと回答している学生もいた。表現活動や制作に対して苦手意識を抱える学生に対してのフォローや、それぞれの活動に対する取り組みや工夫のポイントをよりの確に伝えられるように、今後も見直しを随時行っていきたい。                                                                                      |
|   |       | 2161021 | こども<br>音楽療育演習  | 選択授業ではあるが、「こども音楽療育士」の資格取得に関わる科目のため。                                                                                                                                                          | 中間アンケートについて、授業内容の改善点については特に回答がなかった。良いところとして、少人数での受講のため目が行き届きやすい、実用的な音楽遊びの方法などが学べる、先生も楽しみながら授業しているので受講している方も楽しみながら意欲的に学べる、などがあげられた。この授業では指導方法や子どもへの具体的な声かけの方法なども扱っており、教員がどのような姿勢で授業を実施するかで、学生の学習に対するモチベーションや子どもへの接し方も変わってくると思われるので、今後もより充実した授業内容になるように改善に努めていきたい。                                                                  | 学生の自己評価と成績がおおむね対応する形となった。希望者による少人数制の授業ということもあり、意欲的に取り組む学生が多く、個人活動による授業内発表においても、学生同士または教員と活発に相談しながら進めることができた。今後もより良い授業を展開できるよう、内容の見直しを随時行いながら取り組んでいきたい。                                                                                                        |
| 保 | 川松 智子 | 2110161 | 子ども文化Ⅱ<br>腹話術  | このクラスしか受け持っておりません。                                                                                                                                                                           | 中間アンケートの結果は現状への満足という回答が多く少人数での授業がとても楽しく満足のいくものであるという結果でした。中間アンケートの後もし引き続き腹話術技術の習得と、保育現場での具体的な生かし方を伝えるようにしました。                                                                                                                                                                                                                     | 当初の目標であったことは①オリジナルのパペットを自分で作成する。②腹話術技術を習得する。③保育現場での使い方を知る。ということでした。さらに加えて、実際に保育現場で一人ずつ公演発表をするという課題も計画しました。しかしコロナ問題で実現しませんでした。そのかわりに、授業内での発表会をし、その内容についてはそれぞれの努力の跡が見られ、よく頑張り習得したと思います。発達障害の子どもたちと腹話術の効果についても理解してもらえたと思っています。実習や現場で役に立つ技術を皆さんに身につけていただきたいと思います。 |

|   | 教職員氏名  | 授業コード   | 科目名                 | 1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。 | 2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。                                                               | 3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）                                                                                                                                                                                                                    |
|---|--------|---------|---------------------|-----------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 保 | 多田 知正  | 2110171 | 子ども文化Ⅲ<br>(WEBデザイン) | この科目が唯一の担当授業だから                               | 当初計画よりも講義の割合を減らしてパソコンを使用しての実習時間を長めにするように変更した。                                                           | 課題への取り組み方には学生によって差が大きく、真面目に取り組んだ学生については到達目標を十分に達成できたと言える反面、最低限の到達目標しか達成できなかった学生も見られる。今後の課題としてはパソコンに対する苦手意識を持っている学生に対し、どのようにやる気を引き出すかという点が挙げられる。                                                                                                                                  |
| 保 | 和田 謙一郎 | 2111032 | 日本国憲法と人権            | 2コマ担当のうち、回答が多い方を選択した。                         | グループワークなどを希望した学生がいたので実施した。しかし、コロナ感染のリスクも考え限界があった。なお、学生が全面的に受け身となるような要望（簡単に述べるならば、ラクをしようとする要望）には対応しなかった。 | 学生は、憲法を暗記することを前提とした考え方が強かった。簡易な事例を使用しながらも、憲法の目的や解釈について、自ら考えさせることを念頭に置いていたが、座学が苦手な学生には通じなかった様子である。やむを得ず、後半は、日本国憲法と人権というよりも、児童・保育に近い内容の講義となり、レポート試験もそれに準じた。レポート試験でも、憲法・人権に触れる学生は僅かであったことが残念であった。ただし、僅かでも、ネット情報のみに頼らず、図書館に通うなどして自分で考え自分の力でしっかりとレポート作成を行う学生がいたことは、講義を担当した者として救いとなった。 |
| 保 | 澁谷 みどり | 2112012 | 英語<br>(英会話A)        | 同じ授業の最初にあたり、その反応をしりたいため。                      | スライドの展開が速いようなので、気持ち間をとるようにするか、学生に声をかけてもらうように指示した。                                                       | テキストで使われている表現を覚えて使えるように分かりやすく説明をし練習問題を解くようにし、かつ一人で考えないで回りと教えあったりできるように授業を展開したので、理解できたと感じることで到達目標に少しでも達成できたと思う学生が多かったのは良かったと考える。今後も、理解できると思えるような授業をして、自信をつけてもらえるようにし、保育現場でも応用できそうなトピックを授業に取り入れるようにしたい。                                                                            |
| 保 | 竹歳 賢一  | 2115013 | 情報基礎                | こちらの質問に対して真摯に回答でき回答数が多いクラスであったからである。          | 積極的な参加を促すための工夫の必要性がアンケート結果から伺えたので、質疑応答や毎回の授業まとめレポートを科すなど行った                                             | アンケート結果から肯定的な回答である「ほとんど達成できた」「かなり達成できた」「少し達成できた」の比率の合計が84%であったことから、概ねシラバスの達成目標は達成できたと思われる。今後の課題として、積極的な参加を促すための授業工夫の必要性があるので、レポート課題に対するフィードバックを充実させるなどの対策を講じたい。                                                                                                                  |



|   | 教職員氏名 | 授業コード   | 科目名                          | 1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。                                                   | 2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。                                                                                                                                                                                                                                                    | 3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）                                                                                                                           |
|---|-------|---------|------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 保 | 中川 陽子 | 2131031 | 保育原理                         | 本クラス群のほうが他クラス群よりも学生個々の成果物に差があり、学生の本科目への評価や事故達成度を知りたいと感じたため。                                     | 中間アンケートの結果を受けて、スピード（速い・遅い・ちょうどいいのバランスが難しく言葉をかけながら展開した）や方法（PPTの工夫、記述、穴埋め、グループワーク増、振り返りを学生同士で吟味する）などできるだけ改善を試みたが学生のそれぞれの思いや能力などを鑑みたくえですべて反映させることが難しく、今後は到達目標の精査、シラバスの改善が必要であると感じた。                                                                                                             | 授業内外の課題については、しっかりと向き合い仕上げてくる学生が多くみられた。定期試験については、基本事項の確認や対策プリントを配付していたが点数に大きな差が出ている。今後は、理論に関する反復ができるような授業展開をしていき、知識の定着を図りたい。                                                             |
| 保 | 馬場 住子 | 2134051 | 保育・教育課程論                     | 真面目な学生が多く、アンケートに真面目に向き合った回答が得られると思ったため選びました。                                                    | 授業内で質問をしていたが、学生には問われている内容が分かりにくいようであったことが中間アンケートで分かった。そのため、質問内容を丁寧に学生が理解できたかどうか確認しながら実施するように改善した。一部パワーポイントが色などで見にくいとの指摘があったため、できるだけ見やすい色に修正した。出席確認時返事をするよう指導していたが、コロナ感染防止の観点から返事をしない授業が多いとの指摘があったため、返事をするように指導しないように変更した。テキストの説明をする際にページ数を言うようにした方が分かりやすいという意見があったため、時間をかけてページ数や行数を伝えるようにした。 | 定期考査、指導案作成などはよくできていたと捉えていたが、アンケート結果では、シラバスの到達目標がかなり達成できたと答えた学生が31パーセント、少し達成できたと答えた学生が50%であった。そのことから、学生の評価と自身の評価に差があると感じた。今後は、全員が目標を達成できたと達成感が得られるような授業内容を取り入れるなどの改善が課題であると考えている。        |
| 保 | 長谷 範子 | 2134151 | 保育内容演習<br>(言葉・人間関係)          | 3クラス同じ授業をしているが、一番授業に参加する意欲が弱いと感じていたので授業に対してどのように感じているのかが知りたいと思った。（5限で疲れているということも影響しているとは思いますが。） | 中間アンケートで、質問に対しての回答が丁寧ではないという意見と丁寧に答えてくれてわかりやすいという両方の意見があったので、授業では言葉を変えながら丁寧に説明をするよう心掛けた。                                                                                                                                                                                                     | 全体としては、70～80%の到達度であると思われる。本授業で取り組む予定の演習は他科目でしているのでしたくないとの要望が強く、急遽演習内容を変更する必要が生じた。今後は、早めに演習科目での取り組みについて、学生から情報を得る必要があると思った。かなりの割合で完全に机に突っ伏し「どた寝」をする学生がおり、年々増えていると感じる。学ぶものとして自覚を持ってもらいたい。 |
| 保 | 岡山 貴範 | 2134163 | 保育内容演習<br>(環境・健康)<br>(5, 6組) | 特に大きな理由はなく、どこのクラスでもよかったのですが、4限目のクラスが最後だった為、時間の調節などがしやすかったことからこのクラスをアンケートの対象にさせて頂きました。           | 中間アンケートでは、この授業について改善してほしい点で「特になし」という意見が大半でしたが、配布プリントが多いという意見や、スライドの次に進むスピードが少し早いといった意見がありました。その為、配布プリントを見直し、レイアウトを変えて枚数を減らせるよう努力しました。また、次に進む際も、「次に進めていいですか」と確認をとりながら授業を進めていきました。                                                                                                             | シラバスの到達目標としたは、概ね到達できたと感じています。アンケート結果では一部の学生から到達できたと感じていないという意見もあったので、今後は、授業の最初にシラバスの授業内容を記載し、確認しながら授業を行えるように改善していきたいと思います。                                                              |

|   | 教職員氏名 | (入力欄)   | (入力欄)            | 1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。     | 2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。                                                                                                                                                                                                                                                     | 3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）                                                                                                                                                                                                                |
|---|-------|---------|------------------|---------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 保 | 谷 玲子  | 2134331 | 保育内容演習<br>(総合表現) | この科目のみの授業です。                                      | 中間アンケートをおこなったのか、記憶にありません。3の回答の続き四條畷学園には、とても熱心に受講する学生がある一方で、そうでは無い学生も居り、そのギャップに悩む所もあるかと思います。2年生ですから、各自がそのギャップも感じ、流されないようにしていると話してくれた学生が居る。3クラス選択制にして、同じ目標を掲げた学生が集まれるように工夫しても良いのかなと思う。次年度は、コロナもおさまり従来の総合表現の授業が再開出来るよう祈るばかりだが、コロナ禍での工夫した個々人のシアターは、無くなるのは捨てがたいと感じている。今後とも、私にできる限り、精一杯指導させていただきます。 | シラバスの達成目標は、学生方の回答通り達成できた学生とほぼ達成できた学生の回答になる。コロナ禍授業授業として、各手法を本人の希望で選択して制作し演じることが目標なので、各々学生の到達目標が出来ていると思う。家庭学習は、上記の様に手法が違うものを制作するので、2時間以上～30分未満の差が出る。音楽体3者での総合授業となるが、家庭学習時間の幅を少なくするには、選択手法の選択肢を少なくする方が良いかとは思う。到達目標は、学生自信で到達目標に達したかどうかを記入するので、目標の高い学生と目標の低い学生が居る。以後は、2の回答欄に記入する。 |
| 保 | 堀口 節子 | 2141011 | カウンセリング<br>概論    | 当クラスは全体に授業の出席率も高く、授業評価アンケートの回答率も高く、評価が分かりやすかったから。 | 授業は難しい専門用語や専門的な内容が多かったため、学生たちから「授業が難しい」という声が出ていたので、表や図・絵等を出来るだけ使用して目で見える形で説明し、また、具体的な内容（事例など）を多く使用して授業をすすめた。                                                                                                                                                                                  | アンケートの結果で、「学生の意見や要望に対する取り組み」は94%がそう思う、ややそう思うと回答しており、授業の改善・工夫の取り組みが評価されたと考える。積極的な参加を促すための工夫は、88%がそう思う、ややそう思うと回答しており、おおむね評価されたとは思うが、今後も図や表、マンガや絵での表現を使用しながら、授業により参加しやすい内容を考え行きたいと思います。                                                                                         |
| 保 | 竹永 知弘 | 2115022 | 語表現（スタディスキル含     | 回答率が最も高かったため。                                     | ワークシートなどを持ちて、より積極的な参加をうながすようにした。                                                                                                                                                                                                                                                              | 予習と復習に当てられた時間が全体的に短いので、今後は改善したい。                                                                                                                                                                                                                                             |



|   | 教職員氏名  | (入力欄)   | (入力欄)     | 1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。                                                                                                                                                  | 2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。                                                                                                                                                                                                                                                                    | 3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）                                                                                                                                                                                                |
|---|--------|---------|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ラ | 工藤 真由美 | 2210201 | 日本語表現法（A） | ライフデザイン総合学科の1年生必修授業であり、2クラス編成のため、全員の声を聴くことが可能であるため。また、例年授業評価アンケートを取っている科目であり、年度比較も可能と考えたため。                                                                                                    | 中間アンケートで改善を希望する内容は、クーラーの温度が低すぎる3名、漢字テストを毎回するのはやめてほしい2名、パワーポイントの文字を大きくしてほしい5名。その他は「なし」と回答。上記に関して、クーラーの設定温度は事務所での管理であるので、できるだけ高い目に設定するように依頼した。しかし、前期の後半には気温も上昇し、逆に暑いという学生もあり、教員の対応に限界があった。（授業を中断して事務室まで設定温度の変更依頼に度々は行けない）毎回の漢字テストはシラバスにも記載し、成績評価の対象とすることにしており、その分事前のテスト前学習時間を長めにとることで対応した。パワーポイントの文字も見やすく改善した。 | ほとんど達成できたと回答した学生が4%と大変低く、実際には24%が非常によく目標を達成できており、自己評価と実際の達成度が乖離している。その傾向はほかの達成度でも同様で、自己評価が低いことがうかがえる。自己達成感を高められるように、普段から成果を可視化できるように工夫したい。                                                                                                                   |
|   |        | 2210203 | 日本語表現法(B) | ライフデザイン総合学科の1年生必修授業であり、2クラス編成のため、全員の声を聴くことが可能であるため。また、例年授業評価アンケートを取っている科目であり、年度比較も可能と考えたため。                                                                                                    | 中間アンケートで改善を希望する内容は、グループワークなどを増やしてほしい2名、パワーポイントの文字を大きくしてほしい5名、その他は「なし」と回答。残念ながら、グループワークに関しては、コロナの感染状況を踏まえ、実施できていない。次年度以降の課題である。パワーポイントの文字は拡大して見やすくした。                                                                                                                                                         | ほとんど達成できたと回答した学生7%に対して、実際は30%が非常によく目標を達成できている。かなり達成できたと回答した学生32%と併せると学生評価39%、教員の評価36%とほぼ同数となる。学生の自己評価が低く自覚されている。自己達成感を高められるように、普段から成果を可視化できるように工夫したい。                                                                                                        |
| ラ | 中川 玲子  | 2240391 | 食生活アドバイザー | 今年度は、検定試験実施日が2週間繰り上がったため、授業日程を休講、補講によって繰り上げ、短期集中型授業とした。これにより、前年度までの指導方法に改良を加え、予習⇒過去問題の解説⇒解説した過去問の繰り返し復習を徹底した。この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由は、授業中間時点で授業に対する受講生の感想や要望を確認し、後半の授業に生かしたいと思ったからである。 | 過去問題集の各章内での類似問題をグルーピングし、資料「学習ナビ」にまとめ、授業で配布した。授業ではこれにしたがって解説を行うとともに、解法のポイントを示して復習の効率を上げるように工夫した。中間アンケートでは、第1回目の授業から中間アンケート実施までに行った今年度改良したこの授業方法について、全員から「わかりやすい」との評価が得られたのでこの方法を継続し、さらに解説内容の充実に努めた。                                                                                                           | 授業評価アンケートの結果では、「やや」を含め全員から「学生の意見、要望に対する取り組みがみられた」、「学生の積極的な参加を促すための工夫がされていた」と評価された。予習・復習については、半数の学生が1週間に2時間以上行っていた。シラバスの到達目標については、4名中2名がほとんど（90～100%）、1名がかなり（80～89%）達成したと評価した。今回の検定試験に受講生全員（4名）が受験し3名が合格した。授業評価アンケートに表れたシラバスの到達目標への達成度は、そのまま検定試験合格という結果に繋がった。 |
|   |        | 2240111 | 食の科学A     | 今年度は、学生の理解を深め、学習意欲を高める目的で視聴覚教材をこれまでより多く取り入れた。その取り組みが学生の学びにどのように影響しているかを知り、後半の授業改善に生かしたいと思い、この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ。                                                                      | 授業環境として、スクリーンが見にくい、暗いので改善してほしいとの要望が複数あり、後半教室変更を行った。一部の学生から、「参加型の部分を増やしてほしい」との意見があり、課題や発言の機会を増やすなどの取り組みを行った。                                                                                                                                                                                                  | 「やや」を含め80%の学生から、中間アンケートで出された学生の意見、要望に対する取り組みがみられたと評価された。一方、「やや」を含め、参加を促す工夫がされていたと評価した学生は6割に留まった。予習、復習にかける時間については、週2時間以上の学生が0人、30分未満が半数であった。シラバスの到達目標達成状況では、8割の学生が70%～100%達成したと評価した。この結果から、学生の積極的な参加を促すための予習、復習を伴う新たな工夫の導入と、それによる到達目標達成度の向上を今後の課題とする。         |

|   | 教職員氏名  | (入力欄)   | (入力欄)  | 1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。                                                              | 2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。                                                                                                                                                                      | 3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）                                                                                                                                                                                              |
|---|--------|---------|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ラ | 伊東 めぐみ | 2230022 | 医療事務Ⅰ  | 医療事務エリアの基礎的かつ重要な内容として1番最初に学ぶ科目であることと、履修生が多いので2つのクラスに分けているため、両方のクラスでアンケートを実施することで、この科目全体の履修生へアンケートを実施できるので。 | 中間アンケートでは、授業を改善してほしい点についての回答はなかった。授業担当者として授業内容を工夫した点としては、最初の授業の様子からみて教卓の前で全体に説明するより、1人1人のところへ行行って直接説明するほうが学生は理解しやすいことがわかり、時間がかかるので学生が解く問題の数は減るが、少ない問題数でも確実に理解を重ねていくことが大切であると考えて、個別に説明する時間を多く取るようにした。           | 学生の最終評価は、秀、優合わせて46%であり、約半数の学生が8割以上の理解度に到達し、シラバスの到達目標に達しているという結果であった。学生のアンケート結果は、ほとんど達成できた（90～100%）21%、かなり達成できた（80～89%）32%で合わせて53%であり、やや学生のアンケート結果のほうが高い評価であったが、概ね実際の評価と学生のアンケート結果は同程度であった。                                                                 |
|   |        | 2230021 | 医療事務Ⅰ  | 医療事務エリアの基礎的かつ重要な内容として1番最初に学ぶ科目であることと、履修生が多いので2つのクラスに分けているため、両方のクラスでアンケートを実施することで、この科目全体の履修生へアンケートを実施できるので。 | 中間アンケートでは、授業を改善してほしい点についての回答はなかった。授業担当者として授業内容を工夫した点としては、全体に説明するより、1人1人のところへ行行って直接説明するほうが学生は理解しやすいという傾向はもう一つのクラスと同じであり、個別に説明する時間を多く取るようにした。もう一つ、授業環境面として、マイクの調子が悪く、最初は使えるが途中で使えなくなる状態だった。後期の授業開始までには改善する必要がある。 | 学生の最終評価は、秀、優合わせて41%であり、約4割程度の学生が8割以上の理解度に到達し、シラバスの到達目標に達しているという結果であった。学生のアンケート結果は、ほとんど達成できた（90～100%）24%、かなり達成できた（80～89%）18%で合わせて42%であり、概ね実際の評価と学生のアンケート結果は同程度であった。少し達成できた（70～79%）と答えた学生も41%であり、ほとんど達成できた、かなり達成できたと感じている学生とほぼ同数であることがわかった。                  |
| ラ | 安谷 元伸  | 2211501 | 情報倫理   | 「なわてドリル」など様々な学習要素を取り入れて展開している授業のため。                                                                        | 中間アンケートで「なわてドリル」に課題をアップロードした際に連絡が欲しいとの声が複数寄せられたため、以降ユニバで金曜日に課題掲載の連絡を届くようにした。また、授業への参加を向上させるワークショップ的内容を更に充実させた。                                                                                                 | ユニバでの課題掲載連送等を取り入れた結果、問1では「そう思う」「ややそう思う」が92%となり、取り組みに一定の成果が認められたものと考えられる。一方、1名は「そう思わない」と回答しているため、他の学習ニーズについても分析に取り組みたい。問2では「そう思う」「ややそう思う」が100%となり、積極的な学修参加の取り組みを進めてきたことが学生にも理解されたものとする。シラバスの到達目標達成率については「あまり達成できなかった」と回答した学生が1名いたため、問3の学習時間と併せて内容の充実を模索したい。 |
|   |        | 2250241 | 表計算演習Ⅰ | 資格試験とも関連する2年生対象の重要な授業として捉えているため。                                                                           | 演習時間の確保と学習環境の整備。                                                                                                                                                                                               | 問1 中間アンケートで出された学生の意見、要望に対する取り組みに関する回答では、「そう思う」「ややそう思う」を併せて100%となり、中間アンケート以降取り組んできた授業回線の成果が見られたと考える。また、問4のシラバス達成率についても、同様に「そう思う」「ややそう思う」を併せて100%となった。問2で「あまり思わない」との1名の回答が見られたものの、学生達の学習意欲も高く、集中して演習に取り組む授業環境を進展させることができた。                                   |

|   | 教職員氏名 | (入力欄)   | (入力欄)    | 1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。                                                                                                                                                                                                                                                           | 2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。                                                                                                                                                                                                                                                                             | 3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）                                                                                                                                                                                                                                             |
|---|-------|---------|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ラ | 赤田 太郎 | 2211701 | 自分探しの心理学 | ディスカッションを多く取り入れた取り組みを行ったため。                                                                                                                                                                                                                                                                             | 中間アンケートでは、スクリーンが見にくいときがあること、時間を早く切り替えすぎて追いつかないこと、準備に時間がかかることなどが指摘されたので、それぞれ、見にくならないようにスライド上で記入したり、スライドを切り替えるときに声掛けをしたり、準備を早く行ったりすることで改善しました。                                                                                                                                                                          | ディスカッションについては、大変好評でした。ほかの科目でこのような取り組みを行っているところが少なく、学年の交流もできてよかったです。座席を固定していたので、次回からは定期的に後退してもよいと思いました。                                                                                                                                                                                                    |
|   |       | 2271141 | 発達心理学    | 少人数クラスだったため（6名）                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 中間アンケートでは、問題点は指摘されなかった。ひとりひとりに質問していくスタイルが授業に参加できている形になっていて、よかったという意見があった。                                                                                                                                                                                                                                             | 学生が答えられるであろう質問を準備して、その答えに対して考える時間を取ることで、居眠りする学生はほとんどいない状態になった。到達目標を十分に達成できたと考えている。                                                                                                                                                                                                                        |
| ラ | 河合 真知 | 2214011 | キャリアデザイン | 本科目は、ライフデザイン総合学科のベーシックフィールド・キャリアエリアの必修科目であり、1年生全員がこの前期に履修するため、授業評価アンケートの対象科目とした。1年生の必修科目であれば、本学において入学間もない学生の意見をいち早く収集することができる。本科目への活用に留まらず、他の科目及び後期や2年次にも、より良い授業設計に活かしたかったためである。また、本科目は2クラス設置し、同日の1限目と2限目で実施しているが、アンケートは2限目クラスで実施した。理由は、1限目は交通機関の遅延等による遅刻者がよくあり、授業進行が2限目よりも遅れがちなため、実施時間の負担を考慮し、2限目で行った。 | 中間アンケートで、課題が多いとの意見があったが、これは科目の性質上致し方ないと考ええる。特に中間アンケート直前までは、自己分析を中心に行っていた。これまでの人生の振り返りやアセスメントに対する内省、周りの人への聞き取り等、授業時間や教室内だけで終了できるものではないからである。その旨学生には授業内で伝えた。一方、グループワークが苦手との意見があった。こちらにはそれまで以上に配慮し慎重に行った。グループワークへの積極的な参加訓練もかねて、段階を踏んで実施した。グループワークを苦に授業欠席とならないよう、役割分担をあらかじめ指定してスタートさせたり、自己開示については強制にならないよう、発表テーマを慎重に設定した。 | アンケートによる学生の到達目標達成の認識は、「ほとんど達成できた」19%、「かなり達成できた」33%で、あわせて52%あった。一方、成績はS・Aあわせて60%を上回った。科目の性質上、自らのキャリアに関する考えを現段階で確定していくことは難しく、その点において自己認識としては低く表れたと考えられる。しかし、キャリアを考える上での主体的設計に関し、真摯に向き合い、問題意識を持ち、自らのキャリアを考えることはできた学生が多いと判断した評価であるため、若干評価の方が高い結果となったと考える。本結果は、後期のキャリアプランニングにおいても活かしていきたい。                     |
|   |       | 2260111 | ビジネス実務演習 | 本科目は、ライフデザイン総合学科のアドバンスフィールド・ビジネスエリアにおいて、1.2年生が自由に履修できる選択科目であるが、エリア内の位置づけとしては、第一ステップの演習科目と言えるため、授業評価アンケートの対象科目とした。また、本科目を履修後、後期に「ビジネス総合演習」を続けて履修する学生も多い。このことから、アンケート結果を後期の「ビジネス総合演習」及び他のビジネスエリアの選択科目にも反映させていきたいと考え、アンケート対象科目とした。また、選択科目でありながら、30名近い履修登録者がいることも、アンケート対象とした理由である。                          | 中間アンケート前は、初回から座席は学籍番号順の完全座席指定としていたが、PPTが後ろの席で見にくいとのコメントがあったため、座席移動の希望を募り、前方での受講を認めた。その後、全員の希望を確認し、固定席とした。また、PPTの文字をより大きくするなど工夫し、文字が見にくいと申し出はせず、座席変更の希望も出さなかった学生に対しても、より見やすくなる様にした。一方、宿題課題が多く、課題を減らしてほしいという意見があったが、本授業は秘書検定等の資格取得支援科目であるため、減らすことはできかねる。そのため、各自の目標に合わせた取り組みができるよう、提出の方法や解答しやすい出題を心がけた。                  | 学生の到達目標達成の認識は、「ほとんど達成できた」23%、「かなり達成できた」27%であり、成績は、Sが28%、Aが28%であった。よって、学生自身の認識と成績に大きな隔たりはないと考える。課題は、本授業はビジネス系検定の受験支援科目であるため、秘書検定等6月に受験を決めている学生と、受験しない学生とは、授業の予習・復習の時間のかけ方やモチベーションに違いが出ることである。小テスト等は、検定受験に合わせた難易度の高い出題だったため、「少し達成できた」に留まった学生の多くは、受験しない学生が多かったのではないかと推察される。今後は彼女らのモチベーションアップへの声かけ等を工夫していきたい。 |

|   | 教職員氏名 | (入力欄)   | (入力欄)           | 1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。                                                                           | 2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|---|-------|---------|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ラ | 久保 覚司 | 2232311 | 医療事務コンピュータ1     | <p>コンピュータを使う特性上、授業方法が多岐にわたるため、それを確認するために調査したかった。具体的には、・入力方法等を手取り足取り教える方法・自習タイプで、ついてこれない学生の支援を行う</p>                     | <p>大変申し訳ございませんが、中間アンケートを取り忘れており、第13回～14回の頃に実施しました。今回の授業方式（自習タイプ）の方が反応がよく、積極的に授業に取り組める（優秀な学生は難しい問題に取り組むこともできた）との意見があり、こちらの授業方式で問題なかったと判断した。後期の講義（医療事務コンピュータ2）についても、同様の方式で行いたいと考えている。一方、苦手としている学生（であろうと思われるが）から、『端っこに座っている学生にもちゃんと回ってきてほしい』との意見があった。平等に机間巡回することを心掛けていたが、どうしても質問を受けるとそこにつききりになってしまう傾向があった。座席の場所決めを考慮したり、指導に時間をかけられるように長谷川さんと工夫していきたいと考えている。</p> | <p>成績面では、大半の学生が概ね達成できたと考える。授業内テストでは、普段の講義より少々難易度の高いもの（検定試験で利用された過去問を借用、検定合格程度の水準があるかどうかを判断するため）を使ったが、半分以上が8割以上できていた。反省点でもあるのだが、机間巡回の際は、できる子できない子問わず積極的に話しかけるように努めた。（理解できていない学生を見逃さないため）そのせいで、回ってくる回数が少ないとの意見が出たのは反省すべき点だが、“積極的な参加を促す…”面では効果的だったと考えている。「手書きのレセは嫌いだったけど、この授業を受けて、レセ作成の意味がわかってきた」とってくれた学生も数名いたため、今後益々細かく指導できたらと思う。</p>                                                  |
|   |       | 2232312 | 医療事務<br>コンピュータ1 | <p>上記と同様（クラスが二分されているため）コンピュータを使う特性上、授業方法が多岐にわたるため、それを確認するために調査したかった。具体的には、・入力方法等を手取り足取り教える方法・自習タイプで、ついてこれない学生の支援を行う</p> | <p>大変申し訳ございませんが、中間アンケートを取り忘れており、第13回～14回の頃に実施しました。今回の授業方式（自習タイプ）の方が反応がよく、積極的に授業に取り組める（優秀な学生は難しい問題に取り組むこともできた）との意見があり、こちらの授業方式で問題なかったと判断した。後期の講義（医療事務コンピュータ2）についても、同様の方式で行いたいと考えている。一方、苦手としている学生（であろうと思われるが）から、『端っこに座っている学生にもちゃんと回ってきてほしい』との意見があった。平等に机間巡回することを心掛けていたが、どうしても質問を受けるとそこにつききりになってしまう傾向があった。座席の場所決めを考慮したり、指導に時間をかけられるように長谷川さんと工夫していきたいと考えている。</p> | <p>成績面では、一部の学生が不可となってしまったが、大半の学生が概ね達成できたと考える。不可になった学生について原則、課題を提出できていればそれなりに点数は出たのだが、未提出分が多かったため。医療事務コンピュータを履修する＝医療系を目指す と勝手に判断していたため、その点については改善していかなければならない。（伊東先生に確認したところ、該当学生は医療系ではないらしい）こちらは、“積極的な参加…”について『ややそう思う』が多い傾向があった。科目の特性上、全体で発表するということはできない講義のため、質疑応答をする回数を増やすために机間巡回を徹底していたのだが、よい傾向につながらなかったのかもしれない。後期開講の医療事務コンピュータ2については、多少人数が減ると想定されるため、今回のアンケート内容を反映させられるようにしたい。</p> |

|   | 教職員氏名 | (入力欄)   | (入力欄)    | 1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。                                                 | 2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。           | 3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）                                                                                                                                                                                                                                                       |
|---|-------|---------|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ラ | 伴 裕果  | 2210061 | くらしのマナーA | 担当科目が本科目のみであったことと、本科目が講義演習双方の形式で、学生と教員の双方向性のある授業を行うことによって学習成果を上げることが目的としたためその振り返りを行いたいと考えたため。 | 学生の理解度に応じて復習や反復の機会を持つこと、グループワークの機会や発言の機会を増やすことを行った。 | 積極的な参加を促す工夫があったかについて、そう思う、ややそう思うが100%であった。到達目標は達成80%以上が43%、達成79%以下が57%であり、毎回の予習復習時間は半数以上が30分未満であった。発言やワーク等の機会を増やすことと、それらにおいての自主的な行動を数値化し報告させることで自覚を促し、その数値を上げていることを短期目標としたことによって、各回の目標達成につながったと考える。成績は優、良の計が33%、可48%であり、達成度に対し傾向は合致するものの、やや成績の割合が低くなるのは予習復習時間に課題があると考え。今後も積極的な参加を促す工夫を行うとともに、主体的に予習復習に取り組む工夫を検討したい。 |
|   |       | 2210062 | くらしのマナーB | 担当科目が本科目のみであったことと、本科目が講義演習双方の形式で、学生と教員の双方向性のある授業を行うことによって学習成果を上げることが目的としたためその振り返りを行いたいと考えたため。 | 学生の理解度に応じて復習や反復の機会を持つこと、グループワークの機会や発言の機会を増やすことを行った。 | 積極的な参加を促す工夫があったかについて、そう思う、ややそう思うが100%であった。到達目標は達成80%以上が43%、達成79%以下が57%であり、毎回の予習復習時間は半数以上が30分未満であった。発言やワーク等の機会を増やすことと、それらにおいての自主的な行動を数値化し報告させることで自覚を促し、その数値を上げていることを短期目標としたことによって、各回の目標達成につながったと考える。成績は優、良の計が33%、可48%であり、達成度に対し傾向は合致するものの、やや成績の割合が低くなるのは予習復習時間に課題があると考え。今後も積極的な参加を促す工夫を行うとともに、主体的に予習復習に取り組む工夫を検討したい。 |

|   | 教職員氏名  | (入力欄)   | (入力欄)           | 1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。 | 2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。                                                                                                                                        | 3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）                                                                                                                                                                                                          |
|---|--------|---------|-----------------|-----------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ラ | 黒川 圭子  | 2212311 | スポーツⅠ           | 担当科目であるため。                                    | ・学生の運動能力に2極化が見られ、個人と集団指導を併用しながら、グループや内容を変更して進めた。・教場の室温が高いため、学生の動きも鈍く、熱中症対策として、13回～15回は教室にて、運動と座学の授業へ 変更した。                                                                       | ・勝敗だけにとらわれず、身体を動かすことを楽しむという、基本的に重視している点は、達成できたと考える。・学生同士のコミュニケーションについては、今一つうめられないケースも見られ、全体をまとめる鍵となる 学生の取り組み方など更なる指導内容の工夫については、反省点である。                                                                                                                                 |
|   |        | 2220151 | トータルビューティエクササイズ | 担当科目であるため。                                    | ・教場の室温が高いため、学生の動きも鈍く、熱中症対策として、13回～15回は教室にて、運動と座学の授業へ 変更した。                                                                                                                       | ・個別メニューの作成とまではいかなかったが、学生個人では、自宅でストレッチングや筋トレの一部を実施 しているという意見も聞かれ、完璧ではなくとも、日常生活における習慣的な実践の達成は、できた学生も いたと考える。・現状の整形外科的疼痛や違和感などについて、質問や相談を受け、その後の経過などの内容をまとめると、 トレーニングの整合性を感じた学生もいることや、姿勢や体力バランス、の必要性について、関心は持って もらえたのかと感じる。                                               |
| ラ | 伏木 真理子 | 2210311 | 英語<br>(英会話A) い  | 必修科目のため                                       | ・進むスピードが遅い、もっと問題をどんどん解きたいという声があったので、問題に取り組む時間を短くし取り組む量を多くした。・英文の和訳を知りたいということなので、授業後ユニバに掲載するようにした（授業時に書き取る時間をとると書くのが遅いので、問題に取り組む時間が減ってしまうため）・PowerPointの字が小さくて見にくいということなので、大きくした。 | ・中間アンケートの学生の意見・要望に対して改善が見られたという回答は、そう思うとややそう思うを合わせて77%だった。・シラバスの目標達成については、ほとんど達成できた8%、かなり達成できた19%、少し達成できた54%で、合わせて81%だった。学生が感じた達成度と成績分布は比例している。・出版社が提供するCheckLinkというスマホで解答し、正答もスマホに掲載されるシステムが好評だったので、今後も活用しようと思う。                                                      |
|   |        | 2210312 | 英語<br>(英会話A) ろ  | 必修科目のため                                       | ・問題を解答する時間が短いという声があったので、時間を長くするようにした。・英文の和訳を知りたいということなので、授業後ユニバに掲載するようにした（授業時に書き取る時間をとると書くのが遅いので、問題に取り組む時間が減ってしまうため）。                                                            | ・中間アンケートの学生の意見・要望に対して改善が見られたという回答は、そう思うとややそう思うを合わせて69%だった。・シラバスの目標達成については、ほとんど達成できた、かなり達成できた、少し達成できたが合わせて53%に対して、あまり達成できなかった、ほとんど達成できなかったが合わせて46%だった。学生が感じた達成度と成績分布は比例している。・大学生用で一番やさしいレベルのテキストを使っているが、難しいという声もあったので、すべてのUnitではなく、特に大切な文法事項を扱ったUnitを選んで授業をするほうがよいと思った。 |



|   | 教職員氏名  | (入力欄)   | (入力欄)         | 1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。 | 2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。                                                                                                                              | 3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）                                                                                                                      |
|---|--------|---------|---------------|-----------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ラ | 鶴田 美香  | 2224012 | 色彩の基礎Ⅰ        | 人数が一番多く、かつ基礎を学ぶ上でもっとも大切な教科だから。                | 板書の記入書きを少なすし、プロジェクターを使い見てわかる内容に重きをおきました。また、アンケートでは一人一人への声掛けが好評だったこともあり、その点は継続しておこなった。                                                                                  | 全日程を通して色彩の基礎学習の課題をこなす力はついたが、問題文が複雑になると解けなくなるため、今後は応用力の習得に力をいれる必要があると感じた。基礎知識の習得は行えたので、定着化させデザイン性など、創作課題に学んだ知識を活用できるレベルを目指す。                                                        |
|   |        | 2223131 | ファッションブランディング | 新設のクラスであるため、生徒の意見を参考にし更なる発展に役立てるため。           | 自分に何が似合うかなどに意識はむくが、他者への関心が薄く、プランニングの提案などが出来ない。ファッション知識の偏りから、自信がもてない子も多く、知識の共有化をはかる時に恥ずかしいと感じることのないよう発言しやすい環境に注力した。                                                     | 自分軸がみえてきたことで、なんとなく揃えていた洋服に基準をもつようになってきた。また選んだもののへの自信も現れはじめ、人の目が気になる当初からは見違えように、洋服の構成などを考えられるようになっていく。                                                                              |
| ラ | 吉井 珠代  | 2230211 | 公衆衛生学         |                                               | 中間アンケートは実施していませんでしたが、中間時点で、DVD教材の映像を後ろ側席の学生にもよく見えるように前側席と後ろ側席を入れ替えたため、見えやすくなった学生が高評価をつけたのではないかと考えます。                                                                   | 回答数が28%なので正確には分析できませんが、概ね、成績の分布(率)と同様な数字(回答率)が出ており、ある程度は「到達目標」が達成できたのではないかと考えます。授業後の感想文や定期試験の感想欄には、当該科目を受講して、「健康に暮らせていることの幸せ」や「無事に生まれて育ったことの母親への感謝」を多くの学生が記述してくれているので、胸をなでおろしています。 |
|   |        | 2230251 | 解剖生理学         |                                               | 中間アンケートは実施していませんでしたが、中間時点で、視聴覚教材の映像を後ろ側席の学生にもよく見えるように前側席と後ろ側席を入れ替えたため、見えやすくなった学生が高評価をつけたのではないかと考えます。また、小テストの成績が芳しくなかったことで、具体例を多く取り入れる説明を心掛けたことにより、後半の小テストは非常に高得点が出ました。 | わずかに17%の回答率なので、成績との関係を分析することはできませんが、回答者の86%が、「かなり達成できた」「少し達成できた」と答えてくれたことを“学生の感想として受け入れたい”と思います。                                                                                   |
| ラ | 森石 加世子 | 2271151 | 家族心理学         | 受講する学生の興味、理解度等を知るため。                          | 昼間アンケートでは、全体に授業内容に満足をしていることが表されていたため、それを継続するようにした。教室の扉が開いており、教室の外の音が入ってくることや、換気をしていたりしているためか、授業を行う声が聞き取りにくいと書かれていたため、大きな声で話すようにした。                                     | 今年度は、授業の内容への興味・感性が高い学生が多く受講しており、シラバスの到達目標に概ね到達できている学生が多かった。                                                                                                                        |
|   |        | 2272111 | 心理学演習         | 今年度は受講する学生数が例年に比較して、多かったため、受講者の興味、理解度等を知るため。  | 昼間アンケートでは、全体に授業内容に満足をしていることが示されていたこと、とりわけ演習授業を行い、その後のフィードバックに満足をしていることが示されていたため、その内容に重心を置くようにした。                                                                       | 今年度は、授業の内容への興味・感性が高い学生が多く受講しており、演習授業にも積極的に参加し、シラバスの到達目標に概ね到達できている学生が多かった。                                                                                                          |

|   | 教職員氏名  | (入力欄)   | (入力欄)                    | 1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。 | 2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|---|--------|---------|--------------------------|-----------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ラ | 藤堂 隆司  | 2232141 | 診療情報管理論B<br>(医療法規含む)     | 授業は、この授業のみ担当。                                 | スライドの説明が少し早いとの意見があったので、丁寧に説明した結果、全体の95%の学生が「そう思う」と回答した。                                                                                                                                                                                                                                                                       | 授業は、ほぼシラバス通り進めることができた。座学の授業のなかで、できる限り学生参加型の授業に心掛け、毎回の重点ポイントをミニツペーパーにおいて課題・設問を記入させた。後半には、演習を取り入れることでより業務内容を理解させる工夫をしたことで、95%の学生が「工夫された」と回答した。授業シラバスの到達目標の達成状況では、全体の95%の学生が「達成できた」と回答した。定期試験の成績では、S:57%、A:22%、B:13%、C:8%となり、受験生全員が合格基準に達した。教室の問題があるが、15回の授業のうち、4～5回の授業は、パソコンを使用した演習を希望したい。予習・復習、課題に当てた時間では、全体の64%の学生が30分未満と回答したことで、授業外の学習の改善を図りたい。 |
| ラ | 山田 久美子 | 2234011 | 調剤請求                     | 調剤請求1科だけ担当のため                                 | ・遠くて字が見えないことがある(1件)→大きい字での板書を心掛けていたが、更に板書後読み上げるようにした。・線を引く所をもっとわかりやすく言ってほしい(1件)→「〇ページ〇行目重要」とアンダーラインを引くように言うことが多々あるが、2、3回復唱するようにした。・線をひくだけでなくノートをとるなどしてほしい(1件)→試験はテキスト持ち込みのため、必要なことはテキスト余白に記入することを勧めている。テキストに書くか、ノートに書くかは各自の判断に任せている。・問題を解く時間、練習時間がもう少しほしい(1件)→学習内容が多く時間の余裕があまりなかった。前半後半で全員が算定できるような処方箋を解説しながら一緒に算定しレセプトを作成した。 | 点数改定のためテキストが届くのが遅れ、コピーテキストでの学習時間が多くなってしまいました。学習しづらい点もありましたが、調剤報酬請求の基本部分は理解できているように思います。ただ、基本算定の部分だけ理解できている人と、基本から応用の算定までできる人の差が大きいように感じます。算定の基本だけでなく、複雑な内容の処方箋まで算定できる学生をひとりでも多く増やし、調剤事務管理士技能認定試験の受験、合格へとつなげることが今後の課題であると思います。そのために授業内での演習時間が多く取れるように少シカリキュラムの見直しも必要かもしれません。                                                                      |
| ラ | 数藤 晶子  | 2240151 | テーブルコーディネート<br>& テーブルマナー | 中間アンケートを実施することができたため。                         | 3・4限目の授業ということで、できれば講義を一方的に聴く授業だと眠気や集中力が途切れるので、できるだけ参加型にしてほしいとの要望がありました。この授業は、3限目が講義、4限目を実習という形で進めていましたが、3限目の授業においてもできるだけ授業参加型の形式に変えるようにしました。                                                                                                                                                                                  | 今回は、履修していた学生が少人数ということで、全員に目が届きやすい反面、授業に対する意欲などに差があり、やはり取り組みなど熱心な学生ほど成績もよい傾向にありました。対面授業を行うことができたので、実習においてもシラバスの内容をほぼ到達できたのではないかと思います。                                                                                                                                                                                                             |

|   | 教職員氏名 | (入力欄)   | (入力欄)                | 1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。  | 2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。                                                                                                                                                                                  | 3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）                                                                                                                                       |
|---|-------|---------|----------------------|------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ラ | 堂東 由佳 | 2224081 | 色彩の演習<br>(シルクスクリン含む) |                                                | ・油性のインクの臭い対策。→前半は油性インクで授業を行ったが、後半は水性インクで授業を行った。・待ち時間の対策→制作の各工程をスムーズに行えるよう、学生それぞれの制作スケジュールを随時アナウンスした。                                                                                                                       | シラバスの到達目標には概ね到達したと思われる。シルクスクリンの技術を修得し、技術の修得を通して、丁寧に作業することや工夫することを学べたのでは、と考えます。また、作品やオリジナルのグッズ、雑貨制作を通して、学生が自分の生活を豊かにする選択肢が増えていたら嬉しいです。今後の課題は、さらに「オリジナル」ということに注目し、アイデア出しや、構想の時間をしっかりとるようシラバスの改編を行います。 |
| ラ | 能美 智子 | 2230041 | 医療事務Ⅲ<br>(DPC含む)     | 担当科目が1科目であるため                                  | 前半はコロナが落ち着いていたこともあり、アクティブラーニングとなるよう学生同士のディスカッションや教え合える時間を取るようになりました。中間アンケートでも、黒板に演習問題を書いて一緒に解く形式が良かったらしく、学生自身が黒板に書くことも動きがあって満足度が高かったようです。最初は難しく感じていた学生も慣れてきたら自分でもできるという感覚があるようで、率先して当てて欲しいという意見に驚きました。来年も演習に取り入れてみたいと思います。 | 定期試験の結果やアンケートの解答を見ると、対面授業ができたこともあり予定通りシラバスの到達目標はクリアできたと思います。自宅学習の時間に関しては毎週小テストを実施しており、医療秘書検定で出題される医療用語の漢字と略語を出題しております。こちらが想定する時間よりも短く、もっと難しくするべきなのか来年度の検討課題です。                                      |
| ラ | 叶 雅夫  | 2273171 | 子どもの発達と絵画            | ライフ前期はこの授業のみでした。                               | 生徒自身と課題について発想、展開の話し合いを行った。                                                                                                                                                                                                 | 絵本については、2人しか単位が取れなかったが、2人は充分目標に達成出来た。                                                                                                                                                               |
| ラ | 入野 遥  | 2283011 | JAZZ I               | より良い授業にするため                                    | 換気や扇風機の仕様。                                                                                                                                                                                                                 | 学生がJAZZ を楽しいと思っている事は伝わります。しかしその気持ちに技術が追いついていない。今後は基礎の強化と応用を課題とし、雰囲気で踊らずしっかり踊る事を目標とします。                                                                                                              |
| ラ | 柳 慎之介 | 2282011 | hiphop1              | 全ての授業で行なっています。                                 | 学生のやりたい事にそって授業進めています。                                                                                                                                                                                                      | 楽しんで踊ってくれる学生はずつときてくれている印象です。                                                                                                                                                                        |
| ラ | 小西 浩実 | 2230411 | 病院実習                 | 担当はこの授業のみ。                                     | 授業に際しては、毎回シラバスに沿った内容のレジュメを作成して全員配布した。また、毎回その授業内容に対してより理解が深められる様に資料を配布した。                                                                                                                                                   | 概ね達成している。更に、検討を重ねてより理解を得られる様に研鑽する。                                                                                                                                                                  |
| ラ | 佐々木 研 | 2220241 | ファッションビジネス概論         | 学生授業評価アンケートの回答数が多かったため。また、意欲的に受講している学生が多かったため。 | 一方通行の講義にならないよう、できるだけワークのボリュームを増やして授業を進めるよう設計した。                                                                                                                                                                            | ファッションへの関心度、授業後半でのワーク等の成果物の完成度、期末テストの内容を総合的に判断し、到達目標は概ね達成できたと考えている。                                                                                                                                 |
| ラ | 黒田 恭史 | 2250141 | 文書処理演習Ⅱ<br>(Word)    | 担当者が単独で受け持っている科目が、この科目のみであるため。                 | できるだけ、理解・操作が困難と思われる箇所については、丁寧な説明を心掛けた。                                                                                                                                                                                     | 多くの学生が、到達目標をクリアしており、教育的効果がそれなりにあったと考えている。                                                                                                                                                           |

|   | 教職員氏名  | (入力欄)   | (入力欄)             | 1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。 | 2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。                                                               | 3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）                                                                                                                                                           |
|---|--------|---------|-------------------|-----------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ラ | 岡本 久仁子 | 2250251 | 表計算演習Ⅱ<br>(Excel) | もうークラスはクラス人数が少ないため、こちらのクラスを選んだ。               | 中間アンケートにおいて、教室の中間モニターが見づらいという声があったが、それについては要望を出すのみで改善はできなかった。授業中の指示の声が聞き取りづらいという指摘もあったので、なるべく声を張るようにした。 | おおむね達成できたが、一部、内容を未消化のまま終わった学生もいるようなので、きめ細やかな指導を行いたい。                                                                                                                                                                    |
| ラ | 田尻 良   | 2252021 | 情報システム論           | 自分は授業評価を選んでいない                                | より積極的に学生の発言を促し、また課題の書き方についての指導を行った                                                                      | 授業に参加する意思が最初から弱い学生を拾いきれなかったことが悔やまれるが、前向きに受講している学生たちにとって現時点で求められるレベルは概ね達成できたものとする。今後は「単位をとるだけ」と言って憚らない学生にも、興味を持ってもらう方法を一層考えていきたい。                                                                                        |
| ラ | 杉本 篤史  | 2260301 | 簿記入門              | 御校で講義をしている授業が1つだったため                          | 前半は教科書の説明が多かったので、後半は演習を多めに取り組んだ。                                                                        | 全員が簿記の総合問題を解けるレベルには、ならなかったが簿記の基礎（仕訳、貸借など）についてはほぼ全員ができるようになったと思う。                                                                                                                                                        |
| ラ | 中村 勝則  | 2255121 | ウェブデザインⅡ          | 担当しているのはこの科目のみだから、                            | 欠席した学生に対しても可能な限りフォローアップできたように思う。<br>(資料やデータ素材の再配布など)                                                    | 教育目標は一応達成できたように思う、                                                                                                                                                                                                      |
| ラ | 瀬口 昌生  | 2223011 | プレゼンテーション<br>概論   | 担当科目が本授業のみであるため                               | PowerPoint作成時は個人作業になるので、巡回回数を増やし、アドバイスを増やすようにした                                                         | プレゼンテーションは個人ごとに伸びしろや達成具合が異なるためそれぞれに合わせた指導が求められる。<br>その点、受講者数が8名と少なかったため、実践を数回多く設けることができ、学生諸氏にとっても有益な情報を提供できたと思われる。<br>ただし、発表時において、終了時刻が迫った中で実施をしていた学生に対してはアドバイスが駆け足になってしまったことがある。<br>今後はその点に留意し、余裕をもたせた時間設定で展開するようにしたい。 |

|   | 教職員氏名  | (入力欄)   | (入力欄)             | 1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。     | 2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。                                                                                                                                                                                               | 3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|---|--------|---------|-------------------|---------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ラ | 山岡 正弘  | 2242011 | カフェプランニング         | 今年度より担当となった科目であったので、授業を進行をしながら毎回口頭で生徒に確認をしながら進める。 | ① 配布資料の作成を毎回、前の授業進行を確認をしながら進める。② 実習に関しては、生徒の理解度を確認をしながら進める。③ 提出課題は、全体的に旨く進める事が出来ている。                                                                                                                                                    | ① 座学と実習の割合を現在は均等となっているが、実習の割合を増やすことが必要。② 課題の提出率及び課題の達成度は、予想より良い結果となった。要因としては、実習の興味度が高い為。③ 今後の課題として、実習時間を増やす必要がある。実質的に個々が実習をしている時間は、約30分程度で後の1時間が準備時間と講師によるデモ及び後片付け時間となる。                                                                                                                                                           |
| ラ | 倉津 三夜子 | 2242021 | アロマセラピー<br>(演習含む) | 担当しているクラスがこのクラスのみであったため。                          | 改善の理由：1名のみであったが、休憩時間が短く、集中力を保ちにくい、という感想を受けて改善の工夫：講義の合間の休憩時間を短くとっていたのを、少し長く設定した。また、通常135分、ときには補講を含め200分を越える設定となる授業時間を講義前半・講義後半・実習に区切り、タイムテーブルを板書し、その表記に沿って授業を進めるようにした。結果：スタート時点から気怠そうにしている学生のほかは、覚醒レベルが上がり受講への積極性と、授業内容への関心度が高まったように感じた。 | 到達目標として、なによりも安全に"精油"という素材を用い、アロマセラピーを行えることを挙げている。実習を通して理解を深めること、また学生一人ひとりと会話の機会を持つことで、おおむね達成できていると感じる。一方で、講義を聴こうとしない学生、実習も適当にすませる学生に関しては、後半になっても安全性についての理解が不十分であることが懸念される。具体的には、再三伝えているのにも関わらず、精油濃度を濃くしたり各自の状況や、場合によって使わないのが望ましい精油を使う、といったことがある。課題：より安全に使用することを学ぶため、使用する精油の種類を絞ったほうが良いのか？濃度を低くして、準備しておくのがよいのか？ほかに良い方法があるかを検討課題とする。 |